

令和4年度 学校経営方針

江津市立江東中学校

○校訓 自主・連帯・創造

学校教育目標

「未来に向かって、主体的に、心豊かに、つながりを大切にして生きる生徒の育成」

I めざす生徒像（校訓より）

- (1) 自主 「よく考え、自分から物ごとに取り組む生徒」（学力）
- (2) 連帯 「認め合い、つながり合って、ともに伸びる生徒」（人間力）
- (3) 創造 「よりよい生活を創り出そうとする生徒」（社会力）

II めざす教員像（「めざす生徒像」を達成するために）

- (1) 人間性豊かで、徹底した生徒理解を基盤に教育活動を展開する教職員
- (2) 研修に励み、専門的知識・技能の向上に努力する教職員
- (3) チーム江東の一員として共に切磋琢磨し、協力する教職員
- (4) 保護者、地域などから信頼される教職員

III めざす学校像

- (1) これからの社会をよりよく生きるための力を育てる学校
(キャリア教育の推進・学力育成)
- (2) 自他を大切にできる心を育てる学校（人権・同和教育の推進）
- (3) ふるさとへの愛着と誇りを育てる学校（ふるさと教育の充実）
- (4) 安全・安心で地域から信頼される学校（危機管理・学校機能の強化）

IV 学校経営の方針

人権尊重の精神を学校経営の基盤とし、全職員が熱意と責任をもち、家庭・地域との連携のもとに、適切な教育課程の編成・実施に取り組み、生徒一人一人を大切にした日々の教育活動をとおして、学校教育目標の達成に努める。

V 経営の重点

- (1) 人権尊重の精神に根差した人権・同和教育の推進
 - 全教育活動をとおしての人権教育の推進
 - 全教職員の人権教育観の確立と指導体制の確立
 - 進路保障の充実～学校の実態に合った生徒支援の推進

(2) 生徒指導の充実

生徒指導充実の3つの視点

- ・自己存在感を与える
- ・自己決定の場を与える
- ・共感的人間関係を育成する

○一人一人の生徒理解を基盤にした個に応じた指導の徹底

(生徒、保護者の思いを大切に)

○「魅力のある学校づくり」を進める

- ・居場所づくり(安全安心な学校づくり)
- ・絆づくり(全ての生徒が活躍できる場と機会の設定)
- ・自己有用感、自己肯定感を高める取り組みの推進

○規範意識、基本的生活習慣の定着(あいさつ、返事、ルール、自己管理能力)

(3) 学習指導の充実

○「わかる授業」の推進(ユニバーサルデザインによる授業づくり)

○主体的・対話的な学びの推進、言語学習・コミュニケーション活動の充実

○基礎・基本の徹底と学習習慣の定着

～基本的基礎的学習事項の定着と家庭学習の充実

○ICTの積極的な活用による学びの充実(GIGAスクール構想の実現に向けて)

○学校図書館の活用、キャリア教育・食育と健康教育の推進

(4) ふるさとへの愛着と誇りを育むふるさと教育の推進

○地域の教育資源「ひと・もの・こと」を生かした教育活動の推進

○地域の人たちとの交流や出会いをとおした人間関係づくりの育成

～地域の力を学校へ・学校の力を地域へ

(5) 家庭、地域、学校との連携

○社会に開かれた学校づくり

○家庭、地域との信頼関係の構築

○江津東小学校等との連携による教育活動

(6) 安全で安心な危機管理体制の確立

○服務規律の確保と教職員の危機管理能力の向上を目指す研修の充実

○校務分掌を生かした学校運営の徹底

○教育環境の整備と充実

(7) 働き方改革への取組

～教職員の働き方を見直すことで、教育の質の向上につなげる

○ライフワークバランスの適正化に努める

○校務分掌の平準化

○下校時間を最も遅い時間でも18:30分とする

○校務の負担軽減につながる取り組みを工夫する

(8) 学び続ける教職員

○研修等の参加により、資質・能力の向上を目指す。

○OJTにより個人の資質・能力の向上だけでなく、学校全体の教育力を高める。